

行政視察報告



行政視察報告書

常任委員会では、議案や請願の審査だけでなく、草加市政の課題などについて調査・研究を行っています。

令和6年度は、総務文教委員会及び建設環境委員会において次の事項の調査・研究を行い、また先進地の行政視察を行いました。

行政視察報告書を市議会ホームページで公開しています。

総務文教委員会

「中核市について」
令和6年7月11日(木)
埼玉県川越市、埼玉県越谷市

建設環境委員会

「交通行政について」
令和6年8月2日(金)
茨城県常陸太田市

議場前に小学生の絵画を 展示しています

今回のそうか市議会だよりの表紙は、市内小学校4～6年生から応募いただいた絵画作品を掲載させていただきました。

テーマを「大好きな草加」とし、選ばれた作品は表彰を行います。

また、市役所本庁舎10階エレベーターホールに、すべての作品を展示しております。(12月2日～12月27日)

たくさんのご応募
ありがとうございました！！



草加のココが聞きたい！

一 般 質 問

一般質問とは、定例会において議員個人が市政全般について市長などの執行部の考えや、方針を質問するものです。

そうか市議会だよりでは、一部の質問を取り上げて要旨を掲載しています。(掲載は発言順です)

なお、草加市議会では、正・副議長、監査委員、議会運営委員会委員長は一般質問等の発言が制限されています。



9月定例会では15人の議員が一般質問をしました！

会派名 立憲民主党 草加市議会議員団 菊地慶太議員

「こどもまんなか そうか」について

問 子どもの権利条例の制定に向けた取組について、昨年からの進捗状況と今後の予定は？

問 「こどもまんなかそうか」の今後の取組内容は？

答 先進自治体の視察を行い、子どもたちから意見を聴く仕組みの重要性や、条例制定に向けたプロセスなどの情報提供をいただいた。

答 まずは、子どもたちの意見を聴く仕組みの構築が重要だと考えている。

今後、策定検討会の設置や、子どもたちの意見を聴き、反映させるための仕組みづくりを行う。

市長への手紙で、子どもの考えを伝えてもらったり、対面式で子どもが自由に意見を出せる場づくりをするなど、子どもの意見を市の施策に積極的に反映していく。



会派名 市民共同議員団 佐藤憲和議員

こどもまんなかの理念 構築と予算優先配分を

問 「こどもまんなかそうか」の事業に対して、予算優先の考え方は？

策を展開していくべきと考えるが、市長の考えは？

答 「こどもまんなかそうか」に関する事業の中でも、効果が見込まれるものには優先的に事業費を充てるべきと考えており、子どもの声を聴き、未来を担う子どもの想いを様々な施策に反映させ推進していきたい。

答 行政が直接公共サービスを提供するだけではなく、様々なサービス提供主体が活動しやすいような環境を整備していくことがこれからの市の在り方ではないかと考えている。政策形成過程においても、子どもの視点を加味しながら進めていくことが重要な点であり大切にしていきたい。

問 行政が担う部分や理念の構築を一体として施



会派名 自由市民議員団 矢部正平議員

V2Hや宅配BOXの 配布・補助金の増設を

問 草加市地球温暖化防止活動補助金は9項目あるが2050年までにCO2排出量の実質ゼロを目指すためには取組を増やす必要を感じる。太陽光発電や電気自動車等の補助金はあるがV2H(電気自動車等充電設備)はない。補助する考えは？また、宅配BOXの配布や補助金を設けている自治体がある。宅配BOXの利用によりCO2

だけでなく、交通事故や渋滞も削減できる。民間と連携して宅配BOXに補助等をする考えは？

答 V2Hは太陽光発電との連携等により節電や災害時のメリットがあるため、補助を検討する。また、宅配BOXについても再配達を防止し配達に伴うCO2削減も期待できる。民間との連携も踏まえて導入に関する調査・研究をしていく。

